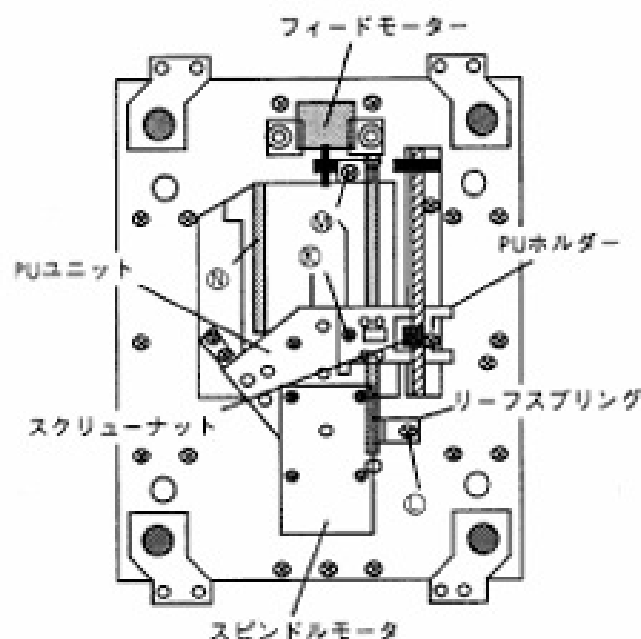


## 5) メカユニットの外しかた

- 1) の要領で、左右のトップカバーを外します。
- 2) の要領で、トップカバー+ドア開閉メカ組立を外します。
- 3) の要領で、メカ組立を外します。
- サーボ基板にタイバンドで固定しているスピンドルモーターからのワイヤーを、タイバンドを切って外します。
- サーボ基板のコネクターP801,P701及び、ピックアップからのフラットワイヤーP501を外します。
- メカユニットをメカベースに固定しているスクリーン④4本及び、①8本を外します。

## 6) ピックアップユニットの外し方

- トップカバーを外します。
- トップカバー+ドア開閉メカ組立を外します。
- メカ組立を外します。
- メカユニットを外します。
- スクリーン⑩を外し、PUホルダーを外します。
- PUユニットを中央位置まで移動します。
- スクリーン①を外し、リーフスプリングを取り外します。
- スクリーン③をゆるめ、PUユニットをシャフトと一緒に外します。

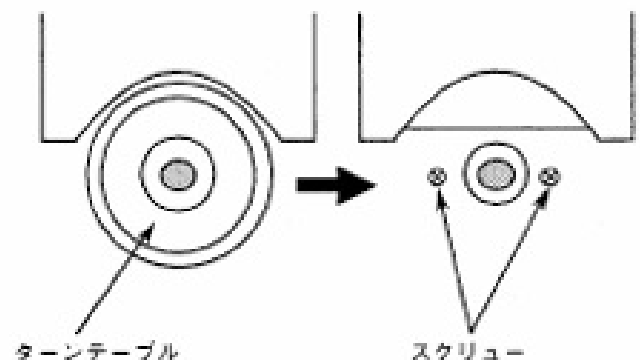


## 7) ピックアップユニットの取付け方

- PUユニットに固定されているPUサポートの溝にシャフト⑨を入れます。
- ゆるめたスクリーン③側のリーフスプリングとストッパーの間に、PUユニットに挿入されたシャフトを取り付けます。
- シャフトの反対側をストッパーに置き、リーフスプリングをスクリーン①で固定します。
- スクリーンナットをPUホルダーではさみ、スクリーン③でPUユニットに固定します。

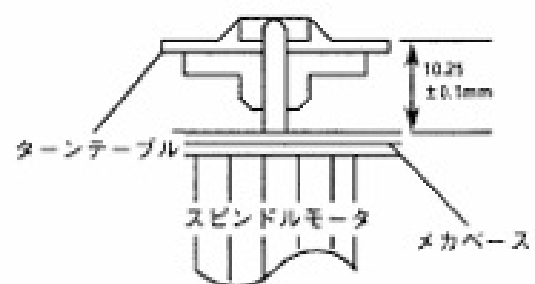
## 8) スピンドルモーターの外し方

- トップカバーを外します。
- トップカバー+ドア開閉メカ組立を外します。
- メカ組立を外します。
- メカユニットを外します。
- ターンテーブルを固定している六角スクリーンをゆるめ、ターンテーブルを外します。(0.05インチの六角レンチを使用)
- スピンドルモーターを固定している2本のスクリーンを外します。



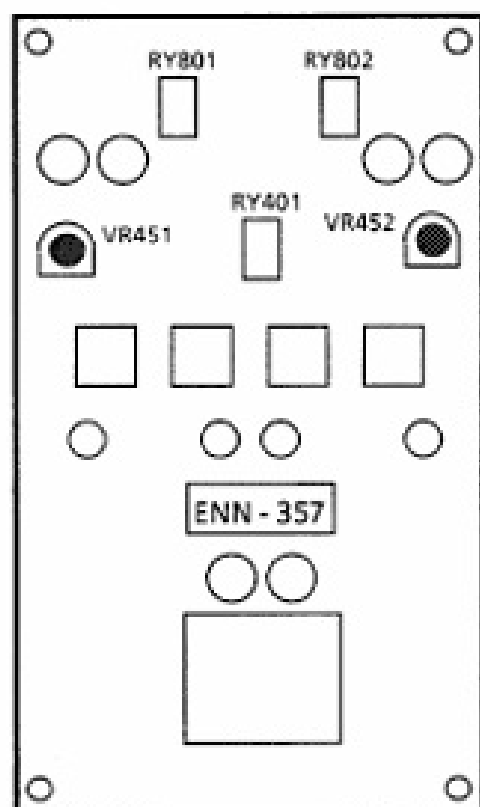
## 9) スピンドルモーターの取付け方

- 2本のスクリーンを均等なトルクで取付けます。
- ターンテーブルを取り付けます。取り付けの際、メカベースからターンテーブル上面までの高さが $10.25 \pm 0.1\text{mm}$ になるように正確にあわせます。



- ターンテーブルを六角スクリーンで固定します。
- 六角スクリーンがゆるまないように、接着剤を塗布します。

接着剤はネジロック スリーボンド1401Cを使用します。

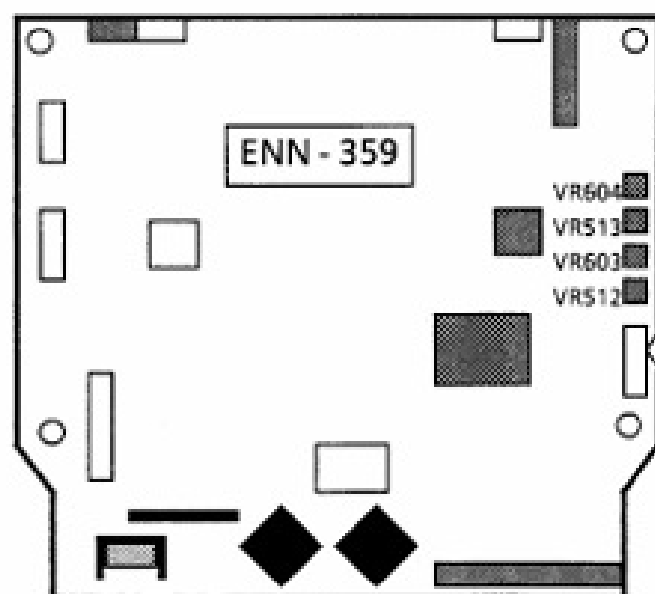


## ■ オーディオ基板

### 1. オフセット調整

- 1). 通電30秒以上経過後、アナログ出力端子のホット～グランド間が、 $DC\ 0 \pm 1mV$ になるように、VR451 (Lch) 及びVR452 (Rch) を調整してください。

## ■ サーボ基板



### 1. フォーカスオフセット調整

- 1). ストップ状態で、テストポイントのTP-3とTP-6の間の電圧が $DC\ 0 \pm 10mV$ になるように、VR512を調整してください。

TP-1	TE
TP-2	RF
TP-3	FE
TP-4	TE.IN
TP-5	FE.IN
TP-6	GND
TP-7	TEST

### 2. EFバランス調整

- 1). プレイ状態で、テストポイントのTP-6とTP-7をショートし、テストモードにします。
- 2). テストポイントのTP-1とTP-6の間にオシロスコープを接続し、TE波形をモニターします。
- 3). TE波形のセンターが0Vになるように、VR513を調整してください。

### 3. ゲイン調整

ゲインが調整範囲外の時、下記の症状があらわれます。

#### ○ フォーカスゲイン

ゲインが低すぎる場合： フォーカスがかけられず、ディスクが回転しない。

ゲインが高過ぎる場合： 音とびする。ノイズが増える。

#### ○ トラッキングゲイン

ゲインが低すぎる場合： ショックに弱くなる。音とびする。またはタイムカウンタがストップする。

ゲインが高過ぎる場合： ピックアップレンズが発振する。(ビー、キーという音がする。

上に述べたようにフォーカスとトラッキング調整は相互に反対の特徴を満足するように行なわれます。調整方法を下記に記します。

#### フォーカスゲイン調整

- 1) TP-3とTP-6にオシロスコープを接続します。
- 2) テストディスクを再生します。
- 3) 図1に示す波形を得るようにVR603を調整してください。

#### トラッキングゲイン調整

- 1) TP-1とTP-6にオシロスコープを接続します。
- 2) テストディスクを再生します。
- 3) 図2に示す波形を得るようにVR604を調整してください。

### フォーカスゲイン調整

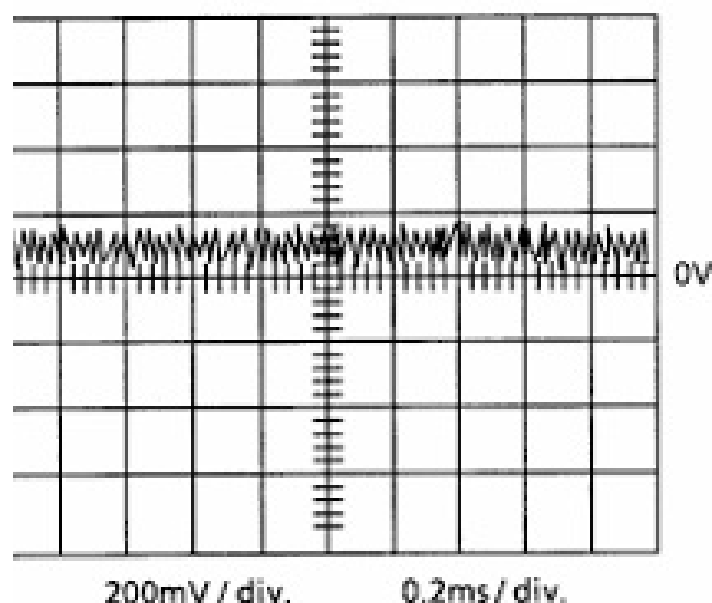


図 1

### トラッキングゲイン調整

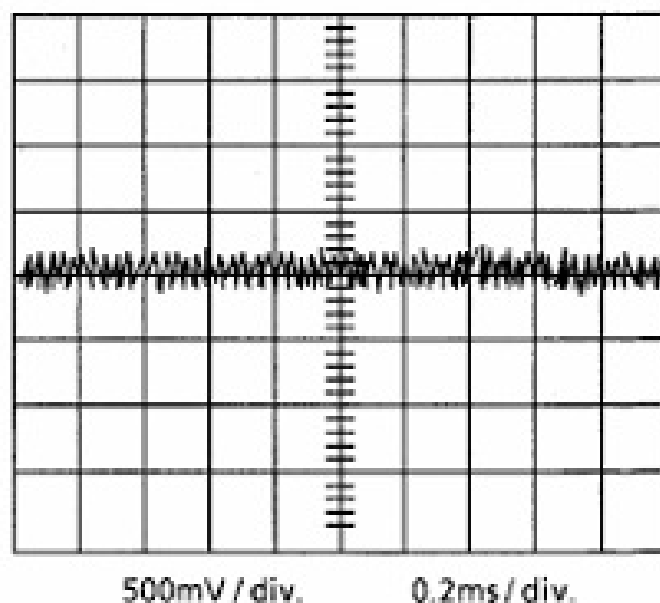
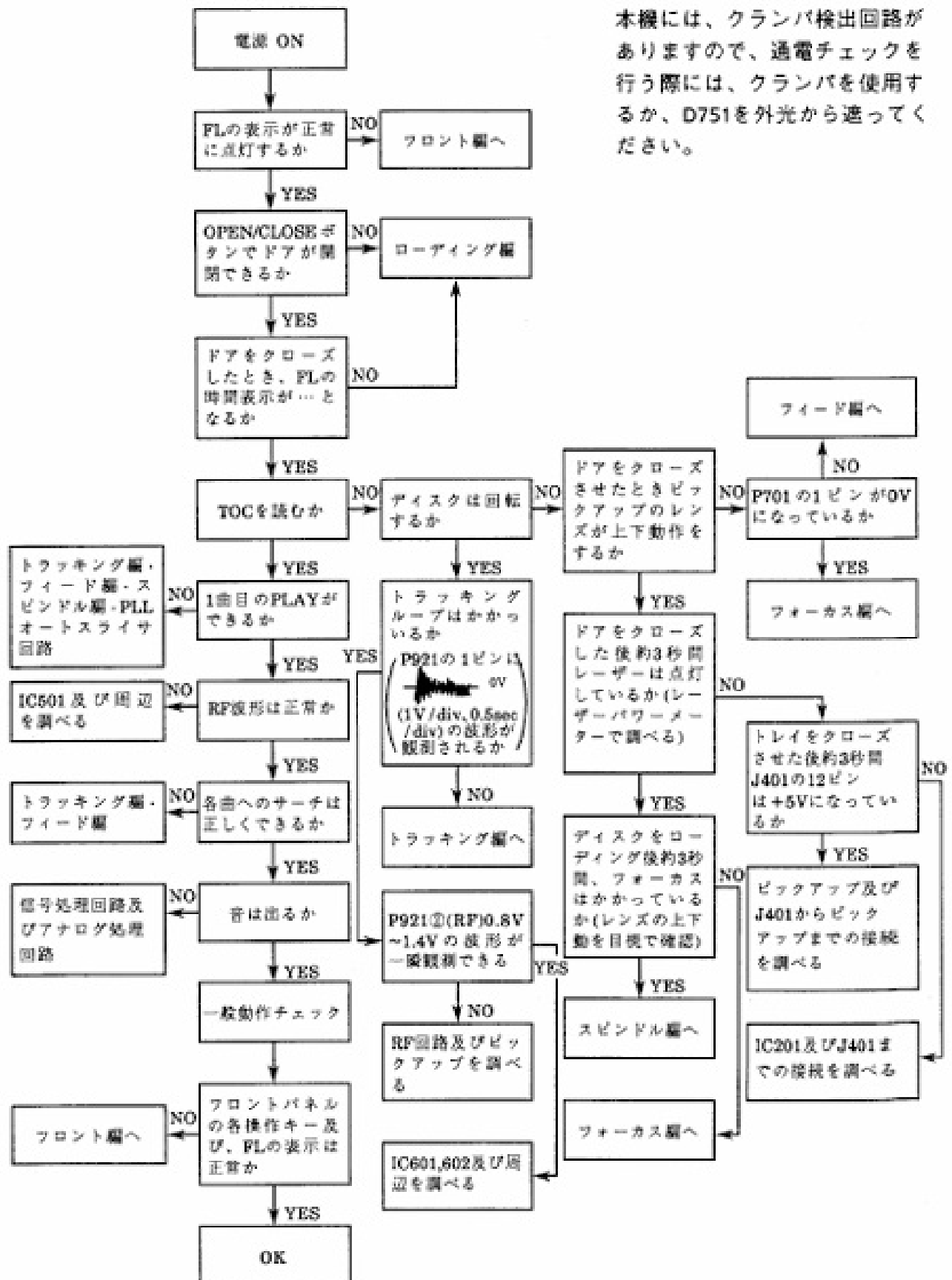


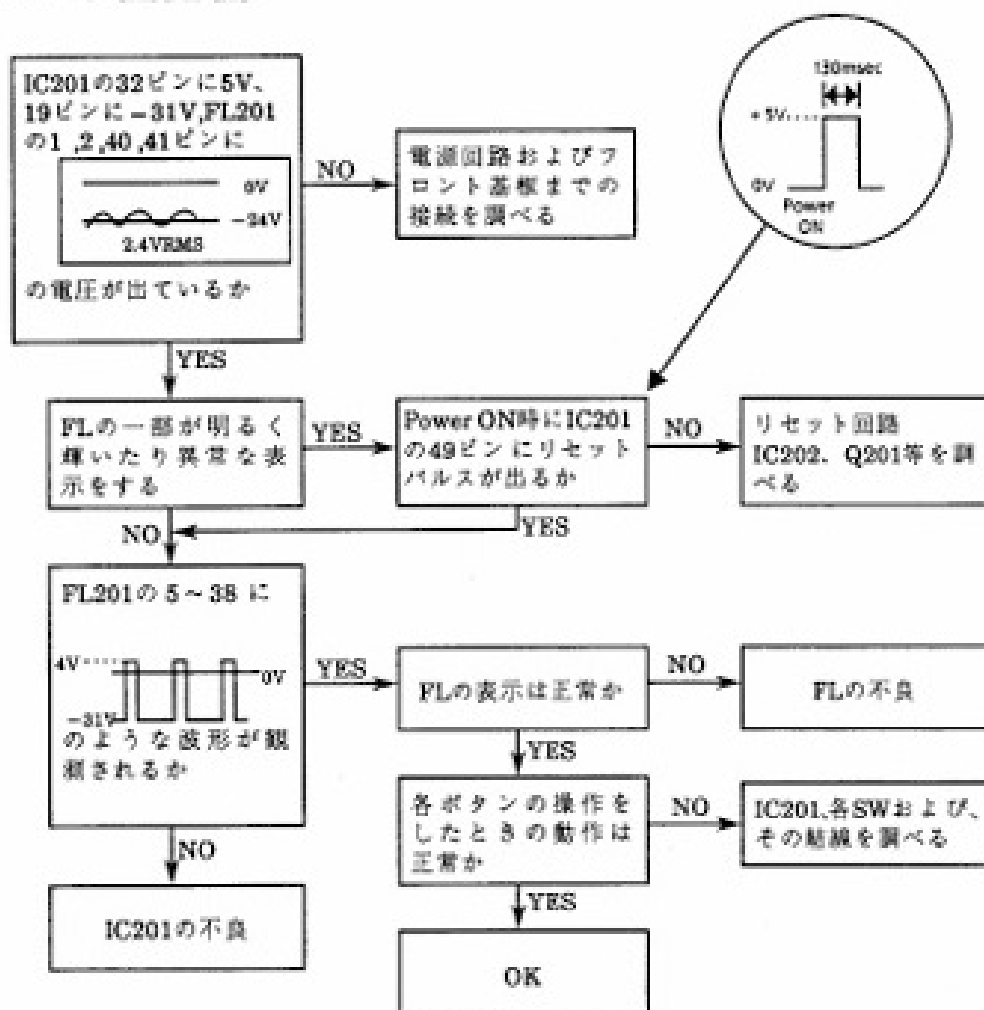
図 2

(注意)

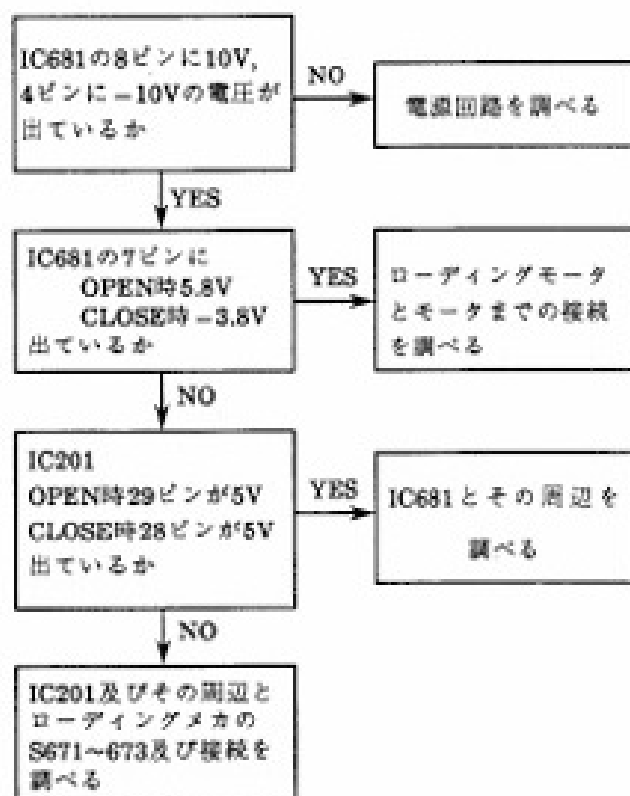
本機には、クランパ検出回路がありますので、通電チェックを行う際には、クランパを使用するか、D751を外光から遮ってください。



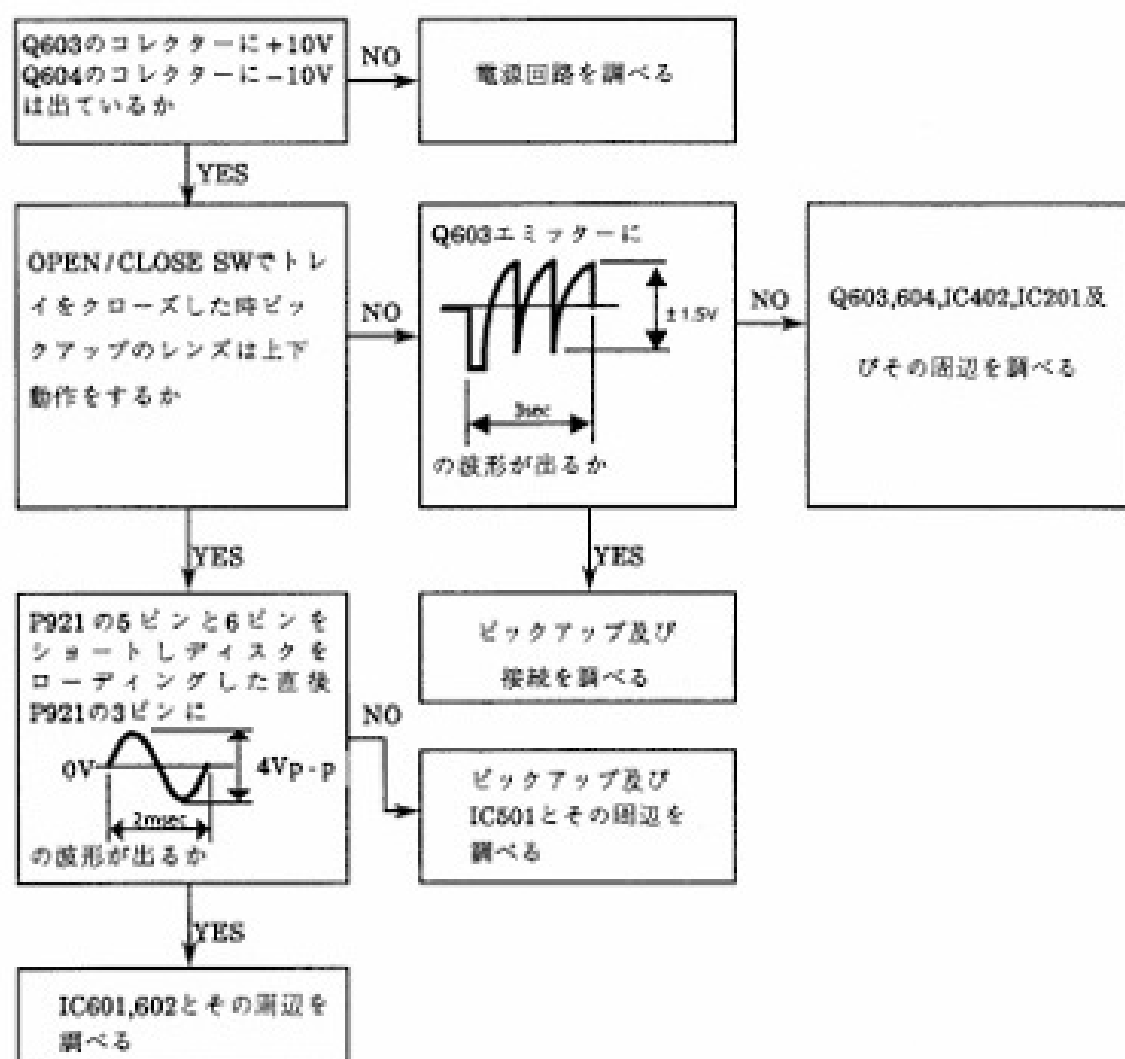
## フロント回路編



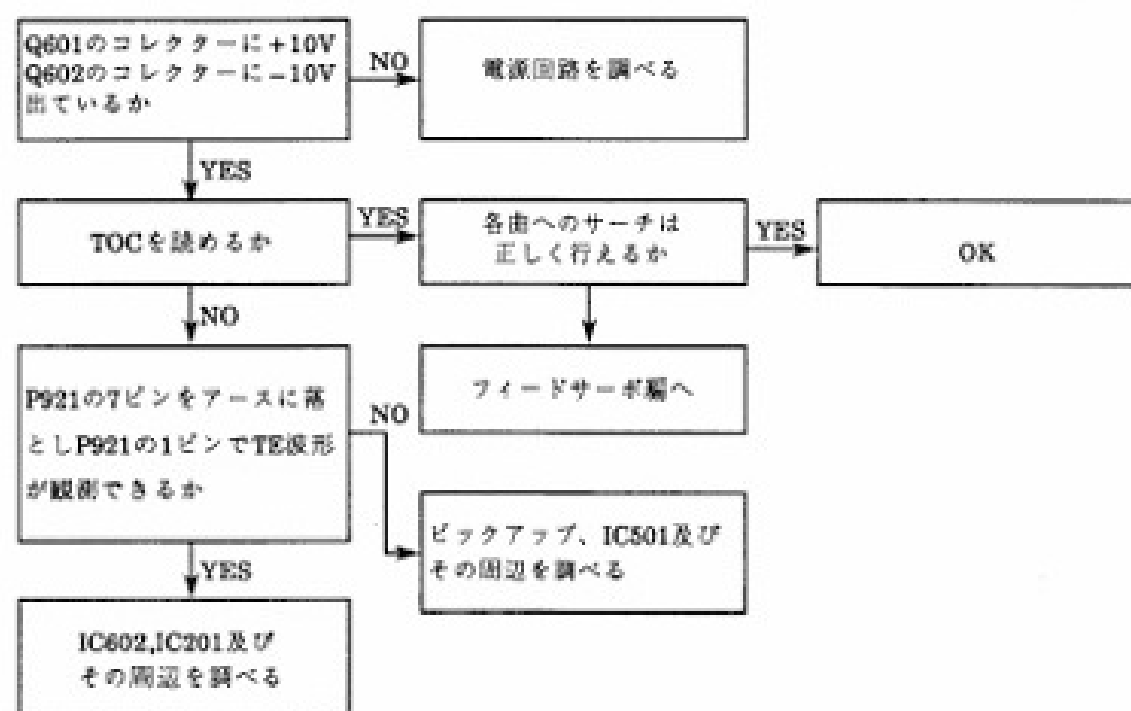
## ローディング回路編



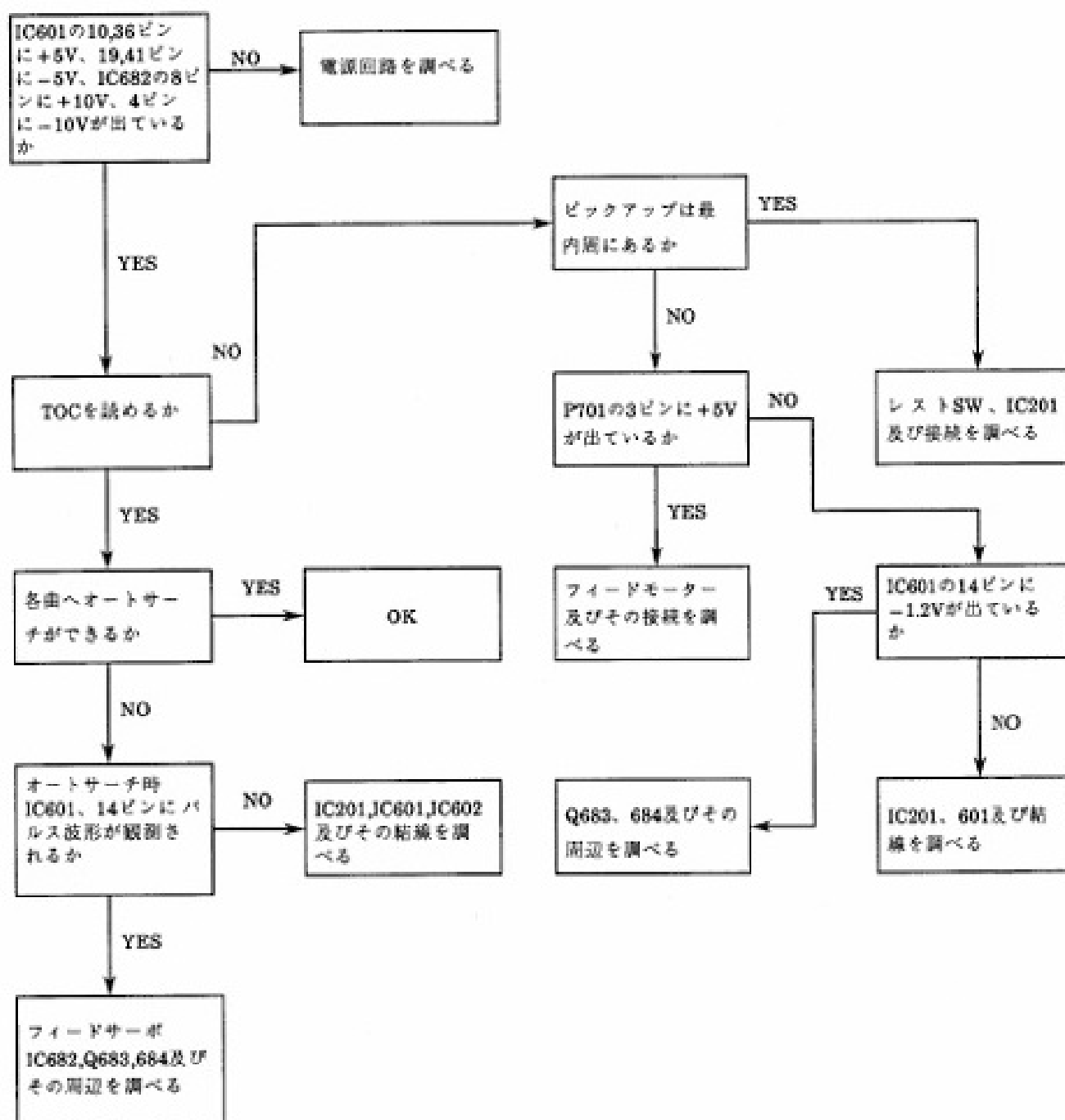
## フォーカスサーボ回路編



## トラッキングサーボ回路編



## フィードサーボ回路編



## スピンドルサーボ回路編

